

Part 1 骨造成を成功させるための基礎知識

Chapter 1 歯槽骨吸収にどう立ち向かうのか？

- 1 インプラント治療では避けることができない問題、それは「抜歯後の歯槽骨吸収」
- 2 抜歯窩への骨再生誘導法（GBR）がインプラント治療を救う？

Chapter 2 骨造成のキホン

- 1 本書における骨造成の位置づけ
- 2 骨造成の術式

Chapter 3 成功のために必ず実践すべき「術前処置」

- 1 歯周基本治療で可及的に口腔内細菌を減少させる
- 2 禁煙支援で創傷治癒しやすい環境を整える
- 3 エックス線写真検査で骨造成する部位を精査する

Chapter 4 骨造成が期待できる症例を知る

- 1 槽間中隔が残っている3壁性骨欠損以上の症例
- 2 初心者であれば第一小臼歯から第一大臼歯までが無難
- 3 舌側（口蓋側）の歯槽骨が残っている症例

Chapter 5 骨造成を伴うインプラント埋入術式

- 1 骨造成を伴うインプラント埋入術式には「同時法」と「段階法」があります
- 2 同時法と段階法、どちらが優れている？
- 3 【抜歯をした場合】段階法における骨造成の時期

Chapter 6 成功を導く手術器具

Part 2 再生のための骨移植材の特性

Chapter 1 骨移植材の分類とそれぞれの特性

- 1 骨移植材の分類
- 2 同種自家骨とは
- 3 同種他家骨とは
- 4 異種他家骨とは
- 5 人工骨とは

Chapter 2 骨移植材は何を使う？—筆者の考えかた—

Part 3 骨再生誘導法（GBR）のための組織遮断膜

Chapter 1 組織遮断膜の分類と特性

- 1 組織遮断膜の基礎知識
- 2 長期間スペースメイキングができる「非吸収性膜」
- 3 低侵襲ゆえに圧倒的に利用されている「吸収性膜」

Chapter 2 骨造成に使用する組織遮断膜の第一選択 非吸収性膜 CYTOPLASTM

- 1 CYTOPLASTMとは
- 2 CYTOPLASTMの利点
- 3 CYTOPLASTMの臨床上的ポイント

Chapter 3 欠損部を早期に骨で満たす組織遮断膜 吸収性膜 Bio-Gide[®]

- 1 Bio-Gide[®]とは
- 2 Bio-Gide[®]の利点
- 3 Bio-Gide[®]と臨床上的ポイント

Part 4 治療ステップ別 成功に導く必須テクニック

Chapter 1 骨造成を成功に導く5大重要ポイント

Chapter 2 ステップごとにポイント解説！骨造成の臨床テクニック

Clinical Steps in GBR 1 歯肉弁の切開・剥離

- 1 切開のポイント
- 2 剥離のポイント

Clinical Steps in GBR 2 欠損部の搔爬

Clinical Steps in GBR 3 組織遮断膜のトリミング

Clinical Steps in GBR 4 組織遮断膜の設置と骨移植材の充填

- 1 骨移植材の準備
- 2 組織遮断膜の設置と骨移植材の充填

Clinical Steps in GBR 5 縫合

Clinical Steps in GBR 6 術後管理

- 1 術後投薬
- 2 手術部位の管理（患者自身による管理）
- 3 手術部位の管理（術者による管理）

Clinical Steps in GBR 7 組織遮断膜の除去

- 1 歯肉が閉鎖している状態の場合は…
- 2 組織遮断膜が露出している場合は…

Clinical Steps in GBR 8 インプラント埋入外科手術

Clinical Steps in GBR 9 上部構造装着

Part 5 Case Study

- Case 1 下顎左側第二大臼歯への骨造成
Case 2 下顎第一・第二大臼歯への骨造成（2歯）
Case 3 上顎右側第一小臼歯への骨造成
Case 4 上顎左側第一小臼歯への骨造成
Case 5 上顎側切歯への骨造成
Case 6 上顎中切歯への骨造成
- 補足 「部分的」な処置が「全體的」に与える効果



無理なくできる

骨造成
導入マニュアル

著 木村 英隆

日本歯周病学会 歯周病専門医・指導医
日本臨床歯周病学会 指導医

本書はよくある臨床上的疑問をスッキリ解決します！

- 本当にインプラントが埋入できるほどの骨造成ができるの？
- 最初にチャレンジするならどんな症例？
- ビギナーは避けたほうがよい症例は？
- 骨移植材や組織遮断膜の効果的な使いかたは？
- 組織遮断膜が露出してしまったときはどうすればいい？

A4判 140ページ
ISBN 978-4-909066-59-6 C3047
定価 8,500円+税

注文票

品名	定価	冊数
無理なくできる骨造成導入マニュアル	8,500円+税	



インターアクション株式会社

東京都武蔵野市境南町 2-13-1-202
TEL 070-6563-4151 FAX 042-290-2927
https://interaction.jp

- ・インプラント治療の予後をより確実にしたい
- ・最小限の侵襲とリスクの少ない術式で骨造成を達成したい

本書はそんな歯科医師のニーズに応える骨造成の導入書です！

まず知りたいことを直球解説！



「失敗したくない!」「石橋を叩いて渡りたい!」

適応症はもちろん、成功を導く術式とそのステップを平易に解説

- ・ビギナーでも骨造成が期待できる骨欠損はどの程度？
- ・「抜歯と同時」と「抜歯窩の治療後」に行うGBRに差はあるの？
- ・インプラント埋入はGBRと同時？GBRを行ってから？
- ・ビギナーがはじめて挑戦するならどの部位が最適？
- ・準備しておくよい器具・機材は？
- ・低侵襲で良好な治癒を導く外科術式とは？

骨造成の成功を導く材料を徹底解説！

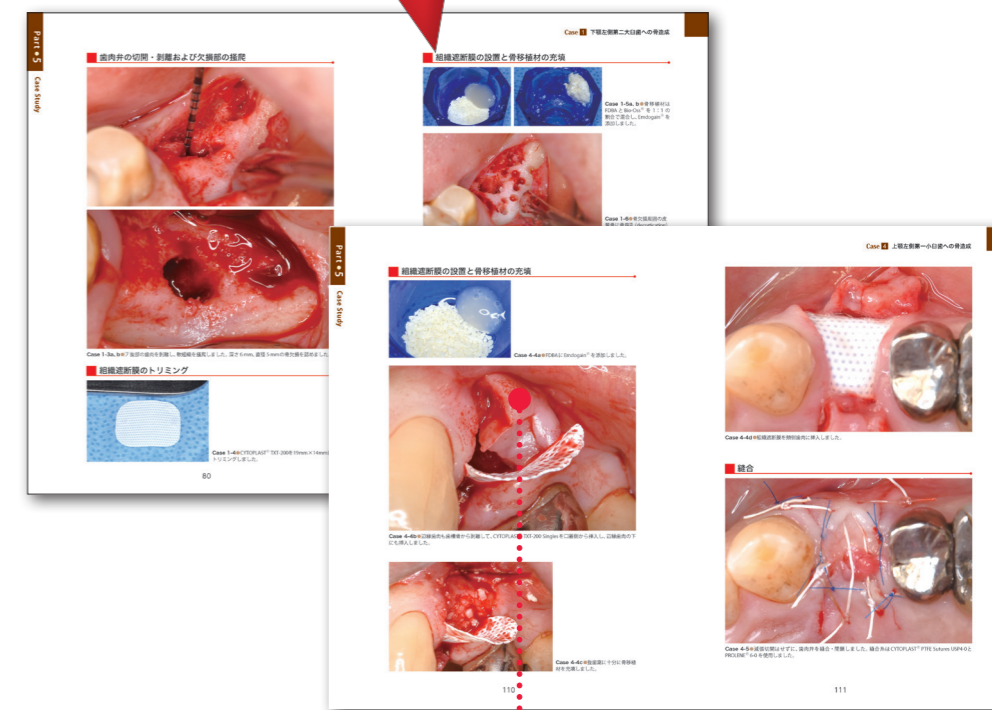


インプラント埋入に最適な環境を構築したい!

GBRに必要な組織遮断膜と骨移植材の効果的な使いかたを丁寧に解説しています

- ・吸収性膜と非吸収性膜の違いとその使い分けは？
- ・話題の非吸収性膜「CYTOPLAST®」は、どんな症例に&どう使うといい？
- ・欠損部を早期に骨で満たす吸収性膜「Bio-Gide®」が向いている症例は？
- ・さまざまな骨移植材があるけれど、どれを選択するべき？
- ・期待する結果を導き出すには、どんな「組み合わせ」や「アレンジ」をするといい？

豊富な臨床例で事前シミュレーションもできる



エキスパートが日々実践していることを知りたい!

20年以上にわたってGBRを実践してきた著者だからこそ書けるノウハウが満載!



木村 英隆 日本歯周病学会 歯周病専門医・指導医
日本臨床歯周病学会 指導医

九州大学卒業後、日本の歯周治療の草分けである船越栄次氏に師事。歯周治療の基礎からインプラントを用いた全顎的な治療まで多くを学ぶ。独立開業後は、日常臨床に加え、学会活動や自身が主催するセミナー『木村歯科 歯周治療研修会』などで若手歯科医師の育成に取り組む。

